

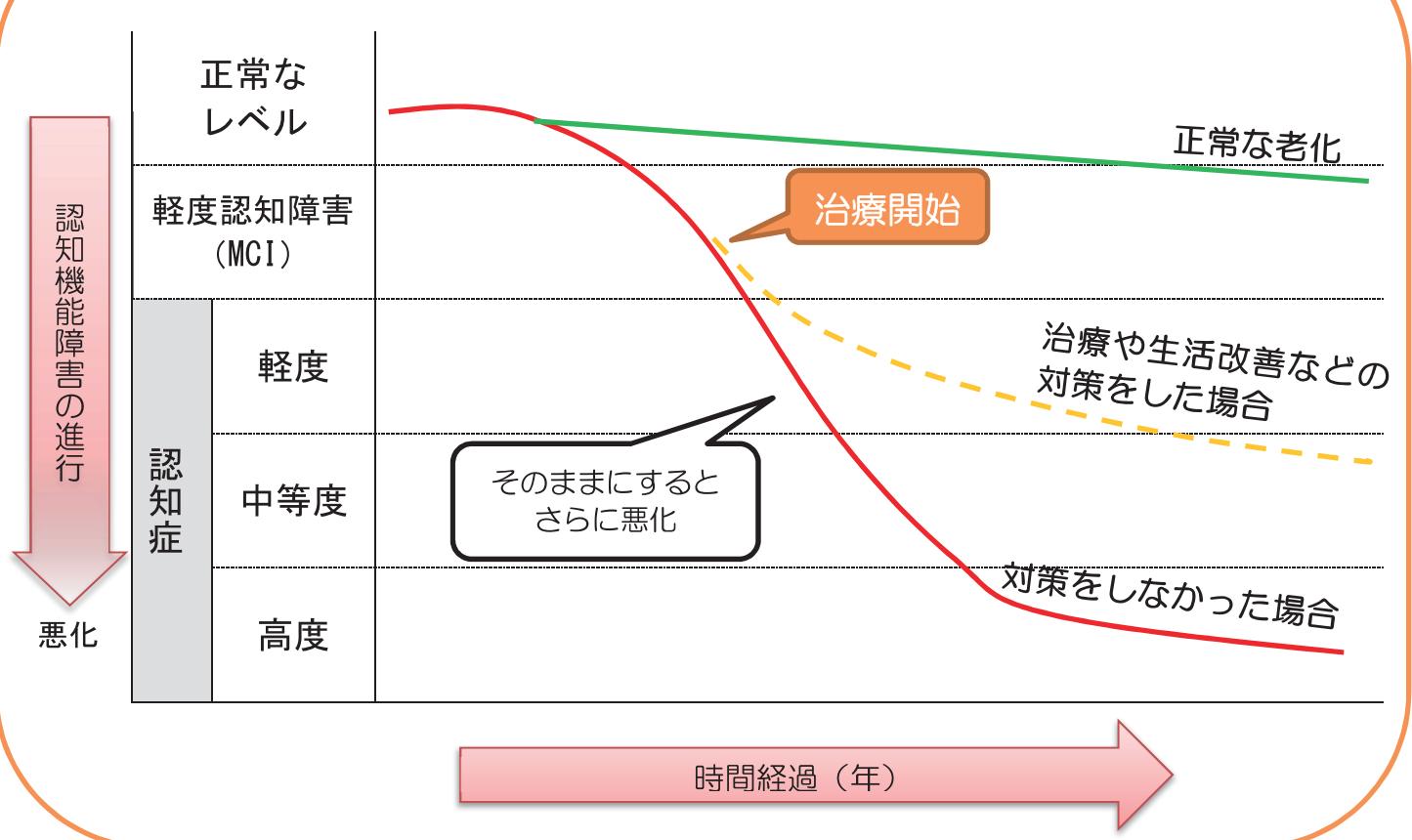
## 4. 認知症の進み方

認知症の状態は、進行によって、軽度、中等度、高度の3段階に大きく分けられます。認知症になりかけている状態を軽度認知障害（MCI）といいます。認知症の進行スピードや症状はタイプによって異なりますが、どのタイプでも時間の経過とともに重症化していきます。



適切な治療やケアをせずにいると、認知症は時間とともにますます悪化します。自分や周囲のことがわからないという不安とストレスの蓄積などにより、周辺症状（行動・心理症状）が多く出るようになっていきます。

### 《アルツハイマー型認知症の進行例》



認知症の進行を遅くするには、**軽度認知障害や発症初期の軽度段階**で発見し、**治療をはじめることが大切**です。軽度認知障害の段階では、本人も「何か変だ」と自覚しはじめますが、目に見える障害があらわれないため、自分で見つけることが困難です。ご家族や地域の中での「見守り・気付き」が大切です。

## ● ● ● ● ● ● ● ● 軽度認知障害の兆候 ● ● ● ● ● ● ● ●

### ●記憶障害

今なにをしようとしたのか、わからなくなることがしばしば起こる。

### ●時間の見当識障害

日付や曜日がわからなくなったり、出来事を思い出そうとしても、どのくらい前のことなのかわからなくなる。

### ●性格の変化

疑い深くなったり、怒りっぽくなる。

### ●話の理解困難

少し複雑な話の理解が難しくなる。つじつまを合わせようと作り話をしたり、つながりのない応答をすることもある。

### ●意欲の低下

長年続けてきた趣味をやめる、以前と比べて外出が少なくなる、身なりに気を遣わなくなるなど。  
うつ病と間違われやすい。

## 《アルツハイマー型認知症の進行による症状の例》

### 軽度

- 同じものを何度も買ってしまう
- 計画や段取り通りに行動できない
- 曜日や時間がわからなくなる
- 約束を完全に忘れてしまう
- 料理の品数が減る
- 自力で公共機関を使って新しいところへ行けない

地域での見守りと、  
早期発見・早期治療を！



### 中等度

- 数を覚えることができない
- 言葉が出ない
- 知っているはずの場所で迷子になる
- 徘徊する
- 季節に合った服が着られない
- 着替えや入浴を嫌がる
- 嫉妬妄想があらわれる

### 高度

- 昔の記憶も忘れる
- 家族の顔や人間関係がわからなくなる
- 言葉が理解できない
- 自宅にいてもどこかわからない
- 自分でやれることが少なくなり、常に介護が必要になる